

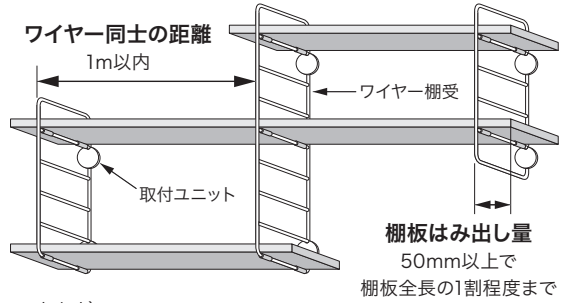
取り付け方

【ロングタイプ】

【ショートタイプ】

① シェルフ全体の構成と位置決め

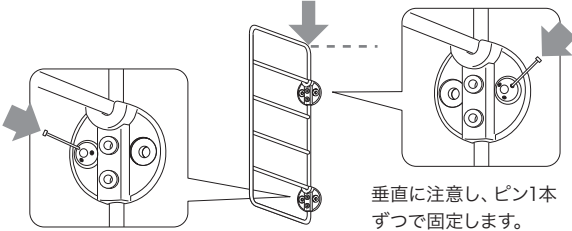
パッケージ表側（耐荷重等の取り付け条件）をよく確認し、作りたいシェルフ全体の構成と取り付け位置を決めます。あらかじめ、本品と棚板を必要数をご用意ください。



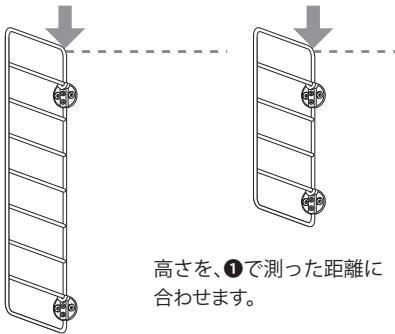
② 壁面への取り付け方法（上図を例に説明していきます）

① まず、一番高い位置にあるワイヤー棚受を一つ仮止めします。（上図の右端）

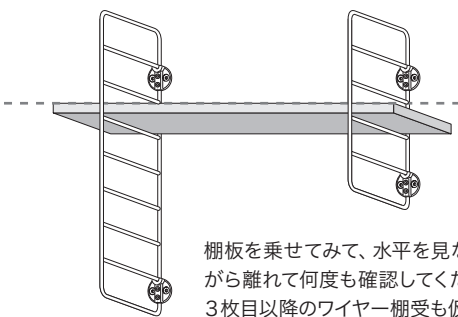
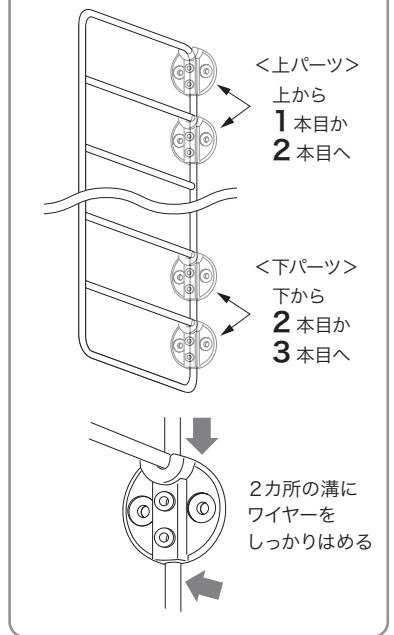
天井（床）からの距離を測る



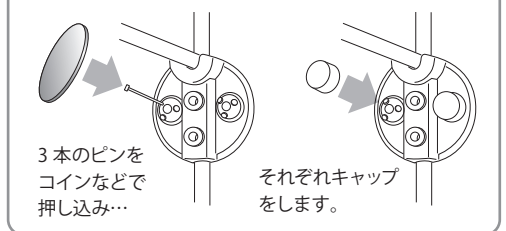
② 次に、同じ高さにある2つ目のワイヤー棚受を、①と同様に仮止めします。（上図中央）



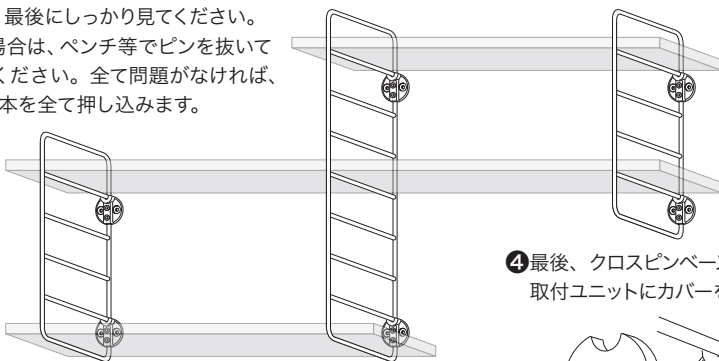
【取付ユニットの位置は？】



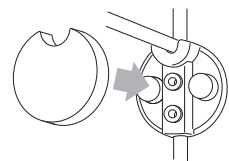
【クロスピンの取り付け方】



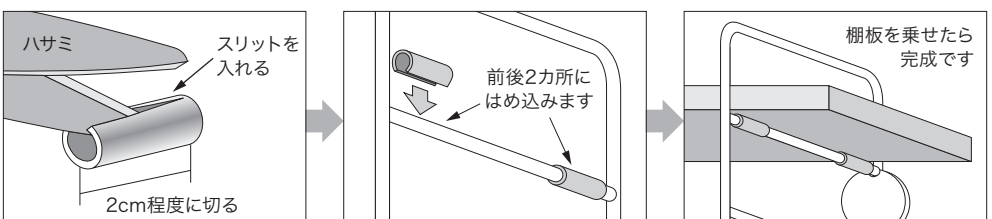
③ 水平垂直等、最後にしっかり見てください。ズレがある場合は、ペンチ等でピンを抜いて①に戻ってください。全て問題がなければ、残りのピン2本を全て押し込みます。



④ 最後、クロスピンベースにキャップをし、取付ユニットにカバーを付けてください。



③ シリコンチューブを取り付け、棚板を乗せる



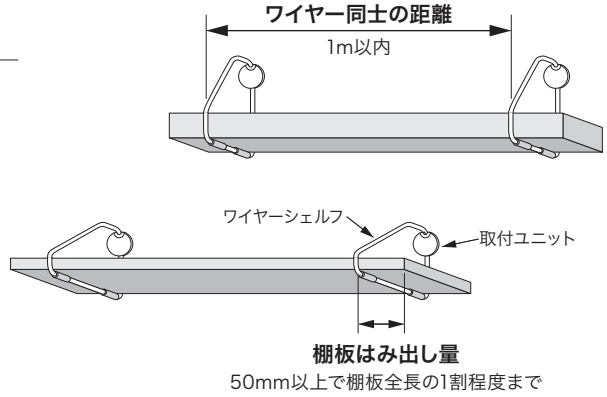
※シリコンチューブは滑り止めです。棚を固定するものではありませんので、ご注意ください。

取り付け方

①シェルフ全体の位置決め

パッケージ表側（平面安全荷重等の取り付け条件）をよく確認してから取り付ける位置を決めます。あらかじめ、本品と棚板をご用意ください。

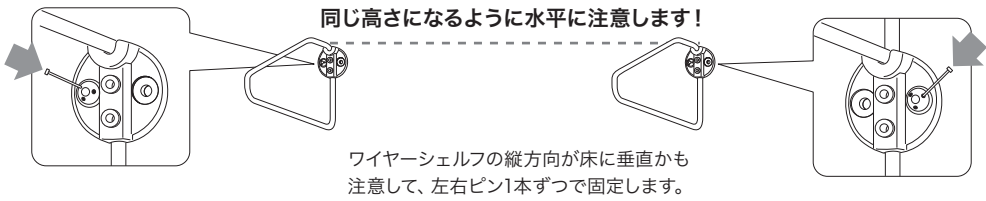
※棚板はできるだけ強度のある材質のものを選び、棚板がたわむような使い方はしないでください。



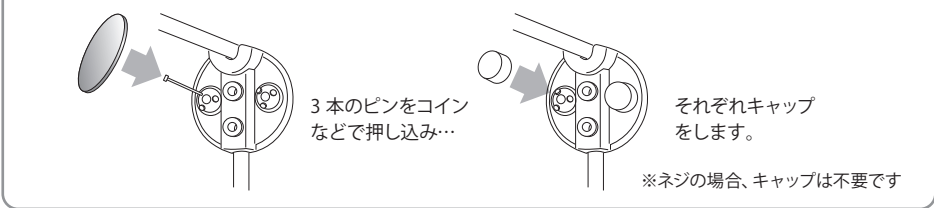
②壁面への取り付け方法

※ネジの効く壁の場合、市販のネジ（φ3.5×20mm）を説明にあるクロスピンの代わりに使用する事もできます。その場合仮止めは出来ませんので、慎重に寸法を測って、必ず下穴（φ3mm）を開けてから取り付けてください。

①まず決めた位置にワイヤーシェルフを仮止めします。

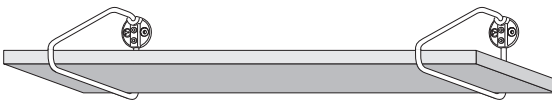


【クロスピンの取り付け方】



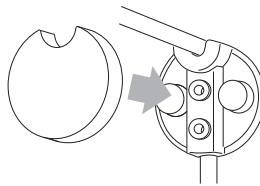
②棚板を乗せてみて、水平垂直等をしっかり見てください。ズレがある場合は、ペンチ等でピンを抜いて

①に戻ってください。全て問題がなければ、残りのピン2本を全て押し込みます。

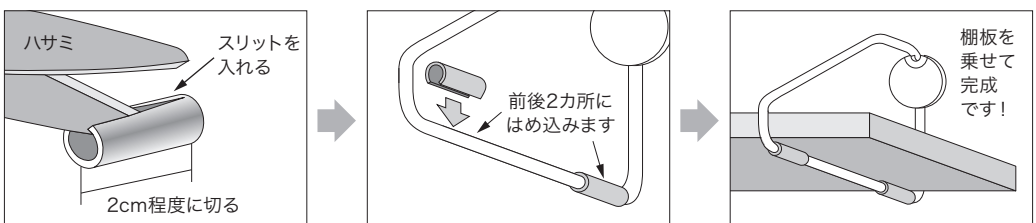


※ワイヤーシェルフは、素材の特性上僅かなゆがみやサイズの誤差が発生する場合があります。

③最後、クロスピンベースにキャップをし、取付ユニットにカバーを付けてください。



③シリコンチューブを取り付け、棚板を乗せる



※シリコンチューブは滑り止めです。棚を固定するものではありませんので、ご注意ください。

※歪みやたつきがない事を確認してからご使用ください。また、定期的な確認も行ってください。

